



まほろば文庫 沿道



まほろば文庫 沿道 (2)

浜松市天竜の山里、春野町にある私設の図書館「まほろば文庫」の取材を「浜松百選」が行うというので、取材に同行した。

今回の取材は、「私設図書館」をつくって一年たったということでの取材。

「まほろば文庫」は、私宅のすぐ近くでもあり(徒歩1分)、よく利用させてもらっている。本を借りることもあるが、子供のための紙芝居に絵本、折り紙にお絵かきみたいなことで、遊ばせてもらっている。地域の人との出会いもあるのがいい。

遠藤理事長が医師として、春野に「もちの木診療所」を構えたのが、5年前。さらに、介護老人保健施設「はるのケアセンター」(60床)を2つ(近頃はまた一つ船明に新設した)、雇用も50~100人くらいになる。私の母も最後はここで看取っていただいた。

遠藤理事長は、医師(専門は漢方)であるが、今年(令和元年)の四月には引退。菜園と果樹園の百姓仕事、そして、お坊さんでもある(真宗)。奈良の薬師寺に出かけては、「唯識学」も学んでいるという。取材にこられた「浜松百選」は、昭和33年の創刊、なんと60年余の歴史があるという。

全国的に有名なのは、「銀座百店」(1955年:昭和30年に創刊)。その「銀座百店」に次ぐ日本で二番目に歴史のある手帳サイズの情報誌だ。

購読料の収入もあるが、ほとんど無償で配布。広告収入での事業モデルと思う。

創刊となるとたいへん。そして、なんといっても継続が難しい。いまの時代、本は売れない。雑誌など売れないし。経費削減で広告がカットされる。

二人のスタッフで、企画して取材して記事を書きながら、紙面割、印刷手配やら営業やら発送やら挨拶回り、これは忙しい。でも、安定して雑誌を出していけるなんて、素晴らしい。

65年という歴史は、ひとつの浜松の戦後史そのもの。バックナンバーをそろえて、展示会をしたらおもしろいと思った。

問い合わせ: 浜松百撰 浜松市中区佐鳴台5-1-10 TEL.053-451-6607

浜松北部生きがい特派員 池谷 啓



まほろば文庫 沿道 (2)



まほろば文庫 沿道 (3)